

消費生活展 持続可能な社会を子どもたちへ 2023

—開催のごあいさつ—

「消費生活展」は昭和47年に始まり、平成・令和へと半世紀以上に及び開催となります。長年「広がり・知恵の輪」をテーマに、私たち消費者一人ひとりが、平和で、これ以上環境を壊さない、健康で安全・安心な暮らしを子どもたちへという思いでつづけてきました。今年のテーマは

SDGsの暮らし ～いま私たちにできること～

2015年、国連総会でSDGs（持続可能な開発目標）2030アジェンダが採択され、世界中が取組まねばならない必要不可欠の課題になりました。

SDGsは地球を破壊から守る、待ったなしの地球危機対策「誰一人取り残さない」という理念のもと、経済、社会、環境を軸とした17の大きな目標と、それに紐づいた169のターゲットという具体化した目標で構成されています。

この夏38℃が続く暑さ、雨がふれば線状降水帯の発生地域の土砂崩れ、頻繁な地震が、世界中で発生しています。コロナ禍、昨年2月のロシアのウクライナへの侵攻によって食料とエネルギーの自給が喫緊の課題となっています。しかも、グローバル化社会の中でTTP等の自由貿易化を進めたことから、国内では農業、漁業、林業など生産地の高齢化や過疎化が止まりません。特に食料自給率は、カロリーベースで38%という輸入に頼らざるを得ないというくらいで、このままでは子どもたちの未来も不安な状況です。

私たちの住んでいるこのまちで一人ひとりが

F = 食料の自給圏の形成
E = 再生可能エネルギーの地産地消
C = ケア（福祉＝地域包括ケア）お互いにケアしあう
コミュニティづくり

をこころがけ、人や地域の資源をつなぎ、共生の輪を広げ、持続可能な暮らしをすれば、世界につながり、子どもたちの未来へ引き継ぐことができます。

令和5年11月 和光市消費者団体連絡会代表
消費生活研究会 竹村 幸子

主催：和光市消費者団体連絡会 共催：和光市

和光市くらしの会

くらしの会は、昭和 42 年に和光市で最初に発足した消費者団体です。

市民の消費者としての権利を守り、消費生活の改善向上を図ることを目的に、リサイクル運動の先駆けとして昭和 47 年から 40 年間続いた【不用品交換会】を始め、環境に優しい石けん等の販売、郷土料理・行事の継承、環境に配慮した事業を行う企業の視察研修、消費者トラブル注意喚起事業への協力、和光市コミュニティ協議会の構成団体としての活動等を行っています。



↑ 2022 年 年末街頭啓発



2022 年
消費生活展→



2013 年 清掃工場を見学



生活クラブ生協和光支部

1人ではできないことを、みんなで力を合わせ、他人任せにしないで 自分たちで解決します！

1965 年、主婦たちが始めた牛乳の共同購入が生活クラブの始まりです。一緒に購入する仲間を増やして、より安い牛乳を手に入れたいという主婦たちの生活自衛の手段でした。共同購入するうちに牛乳の成分のことを学び、「安全な牛乳が飲みたい！」という活動に発展。現在では、72℃ 15 秒殺菌の安全性の高いおいしい牛乳を、自前の工場で作っています。

和光支部は組合員が 400 名以上。支部委員会は、生産者と共に作ってきた品物の勉強会や社会の矛盾などを知る企画を考え、開催しています。良い品物を自分だけが手に入れて満足するのではなく、社会がよりよく変化するように活動します。

新日本婦人の会和光支部



新日本婦人の会（略称：新婦人）は、女性たちの願いや困ったこと、悩みをみんなの問題として話し合い、解決や実現をめざし、活動しています。
ハイキングやパソコン教室、絵手紙などの楽しいサークル活動も盛んです。

消費生活研究会

平成7年、和光市在住の消費者問題に取り組む者が集まり、地域で持続可能な環境社会づくりのリーダーになれればと発足。毎年、消費生活展では共同展示を担当しています。

退職した現在は地域のサロンで地域のお互いさまづくりとして、“いつまでもこのまちで暮りたい”“人生を自分らしく終えたい”との志を持って、活動しています。SNSやスマホをツールに、エンディングノート、遺言書の書き方、認知症ケアシステム、ACPなどの情報をキャッチしながら楽しく語り合っています。



医療生協さいたま和光支部

医療生協さいたまの正式名称は、「医療生協さいたま生活協同組合」といいます。安心して医療・介護を受けたいと願う組合員と医師・看護師・事務職員によって運営されています。地域の人たちとともに「いのち・健康・平和」を守るため、毎月のウォーキング、フレイル予防、まちかど健康チェックなど、みんながイキイキ過ごせるまちづくりを目指しています。

組合員が
オススメする

医療生協さいたまの
「いいところ」



和光
オーガニック



和光オーガニックの会

【食べることは生きること】

☆生きた食事でのいのちをいただく☆

学校給食がオーガニックになったらいいなと思う仲間が集まりました。未来ある子どもたちへ何が残せるのか？環境に負荷をかけないやさしい暮らし方を考え発信していきます。一緒に活動しませんか？お子さんが幼児からお孫さんまでいる幅広い年齢の仲間がいます。春には、わこらぼまつりにコネコネせっけんでデビューしました。農家さんや美味しいお店の訪問をしています。

消費生活センターからのご案内

日常生活の中での、商品やサービスの契約トラブルや多重債務等、様々なご相談を受け付けています。「おかしいな」「困ったな」と思ったら、まずはご連絡ください！



☎048-424-9116(直通) または 消費生活ホットライン188
平日9:30~12:00 13:00~16:00
和光市役所6階市民活動推進課内

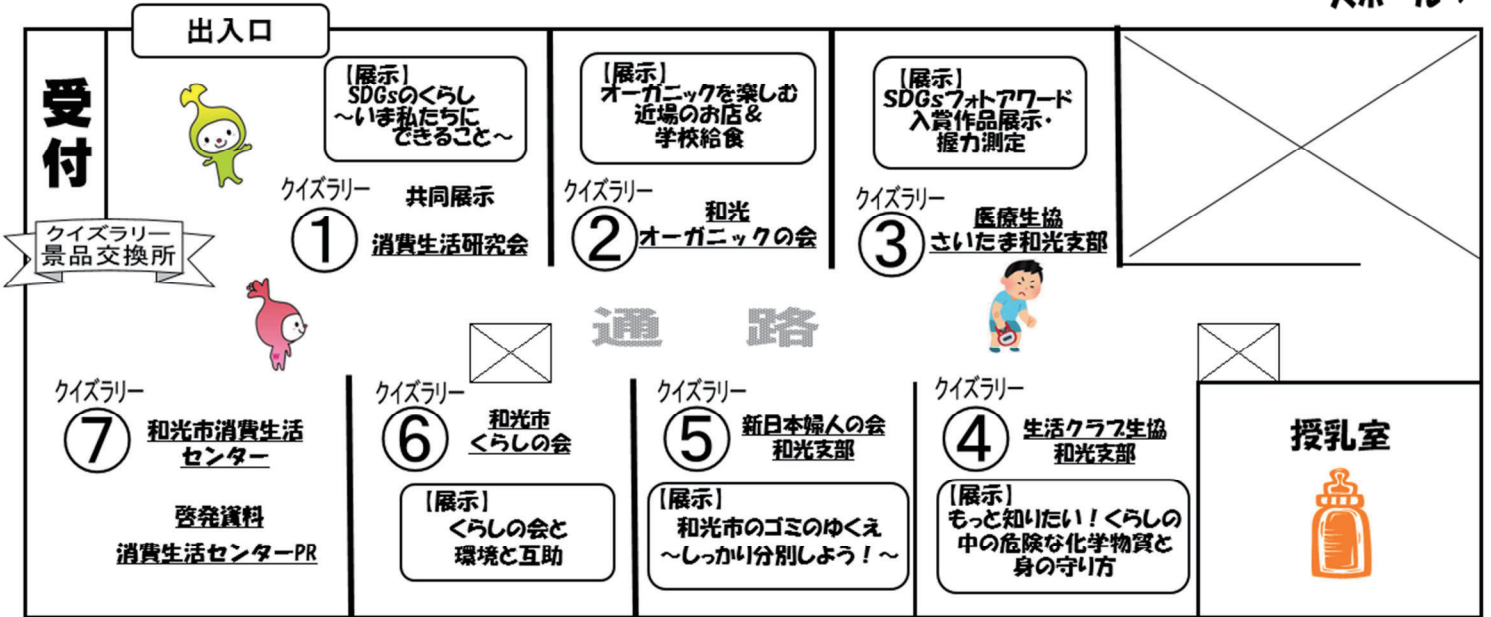
イヤヤ

会場案内図

和光市内の消費者団体が、
日頃の報告や成果の発表を
します！

大ホール→

←行政棟



クイズラリーに参加すると、先着500名様に
オーガニックコットンタオルハンカチをプレゼント♪

消費者団体連絡会

市内の消費者団体が、消費者の権利を守るため、毎日の生活の中で消費者意識を持ち、より安心・安全な暮らしを求めて活動しています。

月1度の連絡会は、各団体の情報交換や身近な話題を気軽に話し合う場です。令和5年現在の参加団体は6団体です。

参加をお考えの方、ぜひお気軽にお問い合わせください！

構成団体名	問合せ先	
和光市暮らしの会	048-424-9129	和光市市民活動推進課
生活クラブ生協和光支部	048-423-7991	生活クラブ生協コールセンター
新日本婦人の会和光支部	048-201-0563	鳥飼
消費生活研究会	090-4070-8582	竹村
医療生協さいたま和光支部	048-465-5505	上原
和光オーガニックの会	090-6023-1812	金森